

新しい価値観に根差した持続可能な社会の実現

令和3年度における活動実績・成果の概要

令和3年度採択 JST共創の場形成支援プログラム (COI-NEXT) 地域共創分野 (育成型) での研究活動

近年、日本の沿岸域では、温暖化や黒潮の蛇行など海洋環境の変化に伴い、急激な生態系変化が見られます。これまで南方に生息していた魚が北部で水揚げされるなど、魚種交代といわれる現象も報告されています。また、沿岸部では磯焼けと言われる藻場の喪失も地域によっては深刻な問題となっています。更に沿岸の酸性化でアサリなどの貝が育たなくなり、海の貧栄養化の影響等で海藻類の色落ちなど、海産物の成長が阻害される課題も抱えています。一方、世界では食料生産量の約3分の1が毎年廃棄されているとの指摘があり、日本においても毎年多くの食品が廃棄されています。

美食地政学という新たな概念

持続可能な形で未利用資源を利活用するには、農水産資源管理とサプライチェーンのグリーン化が重要です。食材の輸入先での環境負荷への配慮、供給されている食材の向こう側にどのような環境保全型のアクションがあるのか、そして消費者も自分たちが食材を消費するということがどのような環境保全行動に繋がっているのか、そのつながりやコストについて理解する必要があります。

「美食地政学」は、食に関わる多様な知を集結し、持続可能な食を実現するための概念です。本プロジェクトでは、「美食地政学」という新たな概念をもとに、産学官の協働により、これらの問題共有・意識啓発を通じて、一次資源供給・消費に関わる環境管理・保全、未利用資源の活用、流通、提供のサプライチェーンを通じた「職」をグリーンジョブとして位置づけ、地域における将来世代の就労機会の確保に向けて、共創教育プラットフォームの形成を行い、若手人材のキャリアアンカーになるようグリーンジョブマーケットの醸成を目指します。

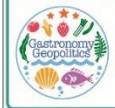
科学技術振興機構 共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)【地域共創分野】

美食地政学に基づくグリーンジョブマーケットの醸成共創拠点

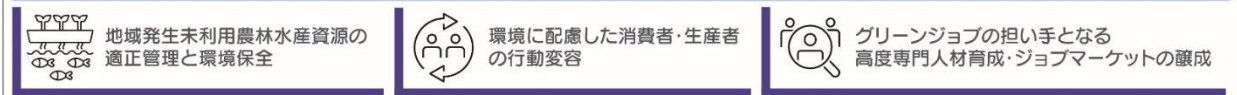


代表機関 東北大学 **参画大学** 東京大学・東京都市大学

参画機関 三重県志摩市、宮城県東松島市、リファインホールディングス株式会社、株式会社オレンジページ、株式会社日本旅行、辻調理師専門学校・辻製菓専門学校、有限会社伊勢志摩冷凍、よこやま株式会社、アイザワ水産、株式会社大友水産、宇治山田商業高等学校、水産高等学校、石巻西高等学校、一般財団法人リモート・センシング技術センター、三重県水産研究所



美食地政学に基づく地域発生未利用資源の利活用技術の実装とグリーンジョブマーケット醸成



A	美食地政学の観点から見た望ましい水産資源管理		温暖化による里山海の生態系変化への適応 環境保全と循環 資源の利活用と最適化 気候変動や黒潮蛇行等による急激な海洋生態系の変化。市場に出回りにくい未利用魚や野菜の利用・加工の技術向上と、消費の場の醸成。海洋生態系保全活動で駆除される海産物も。
B	美食地政学の観点から見た望ましい農林資源管理		貧栄養化 魚種交代
C	米麦塩類/サプライチェーンを通じた環境影響評価		消費者・生産者の行動変容 消費者向け情報提供。未利用資源活用食のイベント実施。消費者と生産者を双方向につなぐ。環境保全型食の需要喚起と供給マーケットの醸成。
D	消費者-生産者双方向運動システムの提案・実装		磯焼け 食品ロス・産地廃棄の削減
E	グリーンジョブマーケットの醸成に向けた教育パッケージの提案・共創プラットフォームの構築		一定の供給が見込みにくい農林水産物は加工・保存技術により活用を拡大。

知の共有  We are 食研クリエイター

キャリアアンカーとしてのグリーンジョブマーケット醸成
高校生・大学生にとっての仕事・地域を支える場



新しい価値観に根差した持続可能な社会の実現

令和3年度における活動実績・成果の概要

仙台市たまきさんサロン講座の開催～プラスチックとのつきあいかた

①2021/12/4

・プラスチックスマート講座第1弾は、マイクロプラスチックで万華鏡を作るワークショップを開催しました。コロナ禍で人数制限での開催で、抽選になってしまいましたが、当選した親子の皆様にご参加いただき開催しました。環境科学研究科が連携協定を締結する沖永良部島では、多くのプラスチックごみが漂着します。紫外線や波の影響で細かくなった色とりどりのプラスチックが浜辺に散乱しています。松八重教授の講義で学び、万華鏡づくりを楽しんでもらいました。

②2022/3/6

・プラスチックスマート講座第2弾は、オリジナルエコバックを作るワークショップを開催しました。今回もコロナ禍で人数制限での開催でしたが、9組の親子の皆様にご参加いただきました。今回は小学校1年生から3年生の、小さい子どもたちを対象に実施しました。最初に少しお勉強の時間として、海のゴミの問題についてお話ししました。型紙を使ったり、そのまま描いたり、みつろうクレヨンでお絵描きし、オリジナルのエコバックを作りました。



プラスマ映像制作～プラ無し生活やってみた

・普段なにげに暮らしている私たちですが、プラスチックを避けた生活は困難です。海洋ごみ問題や、マイクロプラスチック問題が取り上げられる中、日本の学生と海外に住む若者が、プラスチックを使わない生活にチャレンジし、そのなかで気づいたことを、みんなで語り合ってもらいました。暮らし方のヒントも含め、様々な気づきがあったようです。日本とカンボジアの環境の違いや、価値観の違いなどを体験してもらうことで、これからの暮らしで、賢いプラスチックとのつきあい方を考えるきっかけになったようです。



出前授業

高校向けSDGs講義

子どもの未来SDGs教育など実施